

中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会
家庭、技術・家庭ワーキンググループ（第3回）
議事次第

1. 日 時 平成27年12月15日（火）15：30～17：30
2. 場 所 文部科学省 東館3階 3F1特別会議室
3. 議 題 (1) 家庭、技術・家庭科を通じて育成すべき資質・能力等について
(2) その他
4. 配布資料
 - 資料1 家庭、技術・家庭ワーキンググループ（第1回）における主な意見（未定稿）
 - 資料2 家庭、技術・家庭ワーキンググループにおける検討事項（平成27年11月30日第1回家庭・技術・家庭ワーキンググループ（第1回）配布資料）
 - 資料3 技術・家庭科（技術分野）における教育のイメージ（案）【たき台】
 - 資料4 技術・家庭科（技術分野）の目標内容等について
 - 資料5 家庭科、技術・家庭科の評価規準
 - 参考資料1 学習指導要領等の構造化のイメージ（論点整理補足資料抜粋）
 - 参考資料2 全ての生徒に共通に育むべき資質・能力と、高等学校各教科の必履修科目の関係等（論点整理補足資料抜粋）
 - 参考資料3 家庭、技術・家庭ワーキンググループ委員名簿

技術・家庭科（技術分野）における教育のイメージ（たたき台）

平成27年12月15日教育課程部会
家庭、技術・家庭ワーキンググループ
資料3

【高等学校】

- （情報の共通必修科目）
- 情報とそれを扱う技術を問題の発見と解決に活用するための科学的な考え方の育成
 - 情報モラル、知的財産の保護、情報安全等に対する実践的な態度の育成
（職業に関する各教科・科目）
 - 各専門分野（農業、工業等（以下略））に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得
 - 各専門分野の諸問題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決する能力の育成
 - 各専門分野と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度の育成

【中学校】

- 材料、加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する技術についての基礎的・基本的な知識と技能を習得させ、技術と社会や環境との関わりについて理解を深める。
- よりよい社会の構築に向けて、技術分野における見方や考え方を踏まえて、技術を創造できる力を育成する。
- 安心・安全な生活の実現に向けて、技術分野における見方や考え方を踏まえて、技術を評価・活用できる力を育成する。
- 技術について関心をもたせ、安心・安全な生活を実現し、よりよい社会を構築するために、技術を適切に評価・活用、創造していこうとする態度を育成する。
- 社会における問題について、技術を評価・活用、創造して解決する活動を充実する
- 技術革新及びそれを担う職業への関心を高め、生産などの経済的主体等として求められる力、安全な社会づくりに必要な資質・能力、情報活用能力、知的財産を創造・保護・活用する態度、技術に関する倫理観等の育成に努める。

【小学校】

- 表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かして使うとともに、表現に適した方法などを組み合わせて表す（図画工作）
- 材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしてつくる（図画工作）
- 身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、そのおもしろさに気づく（生活）
- ものづくりの活動を通して、自然の事物・現象の性質や働き、規則性についての実感を伴った理解を図る（理科）
- 道徳の内容との関連を踏まえた情報モラルに関する指導（道徳） 等

【幼児教育】（教育課程部会幼児教育部会において、本ワーキンググループでの議論を踏まえ、幼児期に育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の明確化について審議）

- 物との多様なかかわりの中で、物の性質や仕組みについて考えたり、気付いたりする。
- 身近な物や用具などの特性や仕組みを生かしたり、いろいろな予想をしたりし、楽しみながら工夫して使う。
- 身近な動物の世話や植物の栽培を通じて、生きているものへの愛着を感じ、生命の営みの不思議さ、生命の尊さに気付く、感動したり、いたわったり、大切にしたりする。 等

社会全体・地球環境・未来

生活範囲・地域環境・現在

※技術をまずは
見つける

技術で問題解決をする範囲と影響を及ぼす範囲